

宇久中学校だより



令和6年7月17日 No.6



学校教育目標「ふるさを愛し 主体的に学習し
自らの判断で正しく行動できる生徒の育成」
生徒会スローガン「瞬可集到」～Be yourself～
学校テーマ「凡事徹底」

佐世保市立宇久中学校
校長 江頭 正次郎
☎ 0959-57-2007

海 原



佐世保市青少年の主張弁論大会に出場しました



今年度も7月6日（土）に佐世保市コミュニティセンターにおいて、3年生 安永 七菜さんが「思い描く宇久の未来」という演題で堂々と出場し、見事佐世保市PTA連合会長賞を受賞しましたので、内容を紹介します。

「みなさんは宇久島を知っていますか？」五島列島最北端の島である宇久島は、海や星などの自然が豊かできれいなところや、人が温かいところなどたくさんの魅力がありますが、人口減少や、観光客減少などの課題もあります。この課題を改善していかなければ、宇久島は活気がなくなり誰も訪れなくなってしまうと思います。この現状を変えていくため、私は宇久の自然に着目しました。自然を生かしたなにかをすることができれば、観光客の増加につながると思ったからです。そのなにかというのは、「グランピング」です。グランピングとは、「魅力的な」という意味のグラマラスとキャンピングを組み合わせた言葉で、テント設営やバーベキュー道具を準備しなくても気軽にキャンピングを楽しめる体験のことです。グランピングの最大のメリットは、自然を満喫できることだと思います。そのため、宇久島に最適だと思いました。現在宇久島は、国内最大規模の発電能力を誇るメガソーラーが計画されていますが、住民は反対しています。なぜなら、もしメガソーラーが進んでしまうと、宇久島は衛星写真で見たとき、今とは打って変わって、真っ黒になってしまい、自然豊かな姿は失われてしまうからです。私は、そんな宇久島には絶対になってほしくありません。もちろん再生可能エネルギーである太陽光発電も必要かもしれませんが、しかし、土地を開発するのであれば、宇久島の住民である私達の大好きな宇久島を最大限に活かせるグランピング施設を設置してほしいです。さて、グランピング施設を設置すると言ってもどんな施設を設置するのか疑問に思った方もいるかもしれません。そこで、いくつか私なりの案を考えてみました。1つ目は、海が見え落ち着けるグランピングです。宇久の自慢の海を一望できるコテージを設置して、ゆったりできる空間にしてはどうでしょうか。2つ目は、森林に囲まれ、満天の星空を楽しめるグランピングです。森林に囲まれてのんびりできるテントを設置し、所々透明なところを作り、星を眺められる空間を作ったらいいと思いました。他にもグランピングの建物には、キャンビンや、トレーラーなどいろいろな種類があるので選べますし、宇久の新鮮な野菜や魚を、バーベキューで楽しむこともできます。これらのことから、グランピング施設を作ると宇久自慢の自然を活かせ、観光客増加につながる良い案だと考えられます。私には自分の思い描く未来があります。私は、島外の高校を受験し、大学に行き、自分の夢に向かって一步一步進んでいくことでしょうか。そして、時には宇久に帰ってきて、豊かな自然や温かい人々に癒やされ、元気をもらいまた夢に向かって進んでいくのです。宇久から離れていても募金などで支援をし、少しでも宇久の活性化に繋がれるようにしたいです。私は、宇久のためにできることを実行します。だから宇久島の未来が、賑わいを取り戻し自然豊かな姿であってほしいです。たくさんの思い出が詰まった一つ一つのふるさとの未来がにぎわいを取り戻し、豊かな自然を守り続けることを願っています。最後に質問です。「みなさんは、ふるさとの未来がどんな姿であってほしいと思いますか。」